

「うーん……
あれから三日もたつのにまだ屈服率60%なんだ
意外と強情なんだねあくたん」

「こんなにも音信不通だと結構騒ぎになるんだな有名人は。
そろそろ潮時かなあ」

「よし！勝負をしようか
今日中に堕とせなかつたら解放してあげるよ」

「え？」

「まずは下準備つと…
これは家畜の興奮剤が入ったローションでねー」



「感度も上がるし強力すぎて
三日三晩休まずセックス出来ちよう代物だよ
直腸に入れたから吸収力も抜群だねw」

「いやあああああ!!
体が熱いっ!!」

「もちろんおじさんのちんぽだも
たっぷり塗りこんでるよw
1秒たりとも休ませないから覚悟してね」

「ひっ……」

「あれ?一突きでイッちゃった?w」

「うそ!!なんでおしりで
感じっ……!!」

「薬の効果もあるけど
もともとアナルの才能があったんだよw」





耐えなまきや.....

たぐ.....

「気持ちいいところは
この辺かな？」

「この辺りも反応いいねw」

「出すぞお!!」

「イグウウウウウウウ!!」

いほあ

休みもなくただひたすら
絶頂させられた——

「もうイキたくないっ!!」

「あと3時間で今日が終わるよ!」

ゴボッ
「頑張ったご褒美に
媚薬ローションを追加してあげる」

雑に—
笑いながら—
ねちねちと—
激しく—
何度も—
何度も—

「やらあ!!おかしくなる!!
死んどちゃうちゃうっ!!」

「早く出さないと全部吸収されちゃって
廃人になっちゃうよ!
頑張っってひねり出してw」

何度も—
何度も—
何度も何度も何度も
もう何
も
考え
れな



「あっ!!やばい!!
でっ出ちやう!トイレ行かせ…っ」

「はーい。動かないでね」

がし

「イグウウウウウウウウ!!」

「アイドルが出しちゃいけない音だしてるねえw」



「お前の耐えるなんて！
おごさん感動したよ」

「約束通り解放しよう」



屈服率 : 99%











